

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

産地直送の家

グループの名称

産地やすらぎの家グループ

直近採択グループ番号

06-0317-0397

(グループ代表者)

代表者名

吉田 昭夫

代表者印

代表者所属先

株式会社歩設計

代表者所在地

岐阜県岐阜市黒野南3-80

代表者電話番号

058-239-2214

(グループ事務局)

事務局事業者名

ヤマガタヤ産業株式会社

事務局担当者名

横山 楓

印

事務局郵便番号

501-6019

事務局所在地

岐阜県羽島郡岐南町みやまち1-3

事務局電話番号

058-271-3111

事務局FAX

058-271-3116

事務局担当者E-mail

kaede_yokoyama@yng-s.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		20	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	5	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		1棟				
					400㎡				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0棟				
					0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	申請が確実な物件がある事業者へ優先的に配分する。 長寿命型、高度省エネ型共に未経験事業者を優先的に配分する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	14	戸	交付申請戸数	9	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	8	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 産地直送の家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県・福井県、及び近県地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 産地やすらぎの家グループ	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0317-0397	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・岐阜県、福井県を中心に、東海・北陸地域は自然豊かな環境下であり全国的にも高評価の地域材が豊富に生産されている。歴史ある地域材を使用し、耐震等級2相当以上を検討し、地震へ備えた性能とする。(非住宅は除く) ・山地、河川などが美しい自然環境の中、再生エネルギーやパッシブデザインなどが有効活用できるため、環境負荷の低い性能を重視する。(非住宅は除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・全国的にも評価の高い、岐阜県・福井県の地域材、合法木材を構造の主要部分に50%以上使用する。 ・美しい地域材の良さを肌で感じられるよう、構造材だけでなく内装の一部にも羽目板等を採用する。(非住宅は除く)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・地域の風を感じられるような風通しの良い間取りを検討する。(非住宅は除く) ・グループルールに沿った家づくりがなされているか、建築士によるチェックを行う。	◎
④①～③の背景	東海、北陸地域は、県の面積の森林率が全国的にも上位であり、岐阜県は82%、福井県が75%と非常に自然豊かな環境下にある。また、多雨多湿で寒暖差が大きい気候の中で育った地域材は、湿度の高い岐阜県、福井県、近県地域の家づくりにふさわしい性質の材であり、高い強度で高い耐久性を持つ良質で信頼性の高い木材が生産される事から、地域材を中心とした産地地消による家づくりを実現する。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・グループルールに沿った家づくりの施工内容向上のため、事務局が主催する展示会や提案会、セミナー等にて説明する場を設け、グループの施工事業者は年1回以上参加する。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様を設定し、主要構造材(土台・梁桁・柱)を規格化する。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様を設定し、その中で産地地消材のフローリング、羽目板等選択肢を設ける。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 土台は、岐阜地域材もしくは福井地域材もしくは合法木材を100%使用。 梁桁は、岐阜地域材もしくは福井地域材もしくは合法木材を70%以上使用。 柱は、岐阜地域材もしくは福井地域材もしくは合法木材を70%以上使用。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が流通を行う利点を生かし、活用物件の木材量、建材数量の把握を徹底し、資材調達効率化とコスト削減に取り組む。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 施工事業者全体と、資材供給業者にて上記内容の情報共有を行い、資材調達の合理化と工程の短縮化に取り組む。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局主催の展示会や提案会、セミナー等にて意見等をまとめる委員会などを年3回以上行う。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内からの意見、情報をまとめ、それをもとに施工事業者全体を対象としたセミナーを年3回以上行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 長寿命型住宅、高度省エネ型住宅とも施工基準書を作成する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループルールの徹底を図る為、ルールの一覧表の作成と施工状況チェックリストの作成と活用。建築士によるチェックを行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 木合い表の添付。主要構造材の地域材、合法木材の使用量を明確にするため、部位ごとに使用量パーセンテージの表示。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局に相談窓口を常設する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 建設現場等に対して、「週休2日制」を導入した場合のメリットを明確に把握し、導入しやすい流れをつくる。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工事業者へ向けてヒアリングにて現状の処遇・待遇について調査。実態を把握し改善点をまとめた自社開催展示会等で情報開示、共有を行う。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 法人事業者へ社会保険への加入についてヒアリング。未加入先へ案内、バックアップ体制を整える。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局開催の展示会や提案会、セミナー等内で安全講習会等の実施。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局主催によるグループ全体の構成員を対象とした地域材の生産体制についての勉強会、工場見学会を行う。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 産地直送の家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県・福井県、及び近県地域	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 産地やすらぎの家グループ	(結成年) 2016 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0317-0397		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者の提供する住宅履歴システム等を利用する。(長期優良住宅のみ)	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 利用経験のない施工事業者へ事務局推奨の機関をすすめる。(長期優良住宅のみ)	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築士によるチェックを行う際、住宅履歴システムへの蓄積の確認を行う。(長期優良住宅のみ)	◎
	② メンテナンス基準		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引渡後、1年点検、5年点検、10年点検を行う事をすすめる。(非住宅は除く)	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検後、補修等が必要となる場合は速やかに対処するよう施工事業者へすすめる。(非住宅は除く)	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅は住宅履歴システムにて確認、高度省エネ住宅は事務局主催イベントにて確認。(非住宅は除く)	◎
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催のイベント内で、勉強会・見学会等を年3回以上行う。	○
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催のイベント内で、体験会を年3回以上行う。	○	
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局内に相談窓口を常設する。	◎	
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理に関して、設計・施工業者との情報共有と意見交換の場を総会等を利用して定期的に設ける。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が発信しているメルマガ、月間通信などを利用して行う。	◎	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって各構成員と連携しながら、施主への対応等円滑に進めるバックアップ体制を整える。(非住宅は除く)	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催のイベント内で、勉強会を年1回以上実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		事務局が作成したチェックリストにより、グループの共通ルールについての検査・確認を建築士とともにを行う。(非住宅は除く)	◎
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿命型住宅、高度省エネ型住宅共、設計施工に取り組みやすい基準、マニュアル等の作成。未経験工務店等への資料の配布。(非住宅は除く)	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループルールを含めた仕様書を施工事業者へ配布する。(非住宅は除く)	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局作成のチェックリストにより、建築士が確認を行う。(非住宅は除く)	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 進捗状況を把握し、事務局主催のイベント内で供給事業者・施工事業者と検討する会を設ける。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 研修会、提案会、メルマガなどを利用し、随時情報発信を行う。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催のイベント内で各業者ごとの意見交換会を年1回以上実施する。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 100 今年度の参加目標人数 35
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 25 今年度の参加目標人数 30	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ講習未受講者をリスト化し、受講案内を行う。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域ごとに、地域材の端材を利用した木の塗り壁の活用をすすめ、健康面へ配慮した家づくりの提案を行い、内装の一部に利用することを推奨する。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 耐力面材と断熱材を組み合わせたパネルの開発をすすめ、コストを抑えつつ耐震性、断熱性に優れた商材の活用を検討する。(非住宅は除く)	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		グループ構成員の意識向上や技術向上、事業の円滑化を図る為、常に事務局内に相談窓口を設けサポート体制を強化する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 産地直送の家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県・福井県、及び近県地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 産地やすらぎの家グループ	(結成年) 2016年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0317-0397	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
--------------	------------

a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台は、岐阜地域材もしくは福井地域材または合法木材を100%使用。 梁桁は、岐阜地域材もしくは福井地域材または合法木材を70%以上使用。 柱は、岐阜地域材もしくは福井地域材または合法木材を70%以上使用。 ※岐阜地域材は、「ぎふ証明材」、「ぎふ性能表示材」とする。 ※福井地域材は、福井県木材トレーサビリティ認証制度による、認証ふくい県産材とする。	◎
---	----------------------	--	---

② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
----------------------	---	---

③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
	梁・桁等の横架材等	<input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	
	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	

④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>【グループの取組について】</p> <p>I. 原木供給 ⇒ 国有林のため事業者登録が不可能な場合がある。供給業者が海外であり、本社の法人登記事項証明書、念書の入手が不可能な場合がある。</p> <p>II. 製材・集成材・合板製造 ⇒ プレカット事業者から直接仕入れる場合がある。事業者が海外であり、本社の法人登記事項証明書、念書の入手が不可能な場合がある。</p> <p>IV. プレカット ⇒ 手刻みでの加工があり、プレカット事業者を経由しない場合がある。製材事業者から直接仕入れる場合がある。</p> <p>V. 施工 ⇒ 施工事業者が設計を行う場合がある。</p>	
---------------------------------	---	--

b	①-1 地域材在庫把握の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: パンフレットを作成し、構造材、内装材ともに施工事業者が選択、把握しやすい体制を構築する。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が流通を行う利点を生かし、市場の動向や価格の変動等随時情報を把握し、事務局主催のイベント等を利用し周知徹底する。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 活用予定物件を予め情報収集し、供給体制の準備をすすめる。	◎

c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 活用物件の1/3以上、使用目標枚数48枚。	○
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 活用物件の1/3以上、使用目標枚数280坪。	○
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 活用物件の1/3以上、使用目標枚数32枚。	○
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 活用物件の1/3以上、使用目標枚数32枚。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域協力業者を積極的に利用することを推奨する。(美濃手漉き和紙 等)	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 国産材のフローリングや羽目板、木の塗り壁など内装の一部へ採用する。	◎

d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域協力業者、地産地消材の商品カタログの作成。ホームページ、メルマガを使い商品PRを行う。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局開催の展示会や提案会、セミナー等にて説明する場を設け、一般ユーザーへも案内ができる体制を整える。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局開催の展示会や提案会、セミナー等にて地域の街並みや景観にも配慮した外構・エクステリアの提案を行う。	◎
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 塗り壁などを取り入れた住まいの提案を行う。(非住宅は除く)	◎

その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	構造材だけでなく内装の一部にも地域材を採用する。(非住宅は除く) ※国産杉、国産産の羽目板・美濃手漉き和紙 等	◎
-----	------------------------------------	--	---

カ. その他

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
--------------	------------

東日本大震災の復興に資する取組	東北産の建築資材を利用する場合、事務局の判断にてグループルールの例外とし許可する場合がある。	◎
-----------------	--	---

平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本県近隣地域の建築資材を資料する場合、事務局の判断にてグループルールの例外とし許可する場合がある。	◎
--------------------	--	---

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 産地直送の家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県・福井県、及び近県地域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 産地やすらぎの家グループ	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0317-0397	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

岐阜 & 福井 産地直送の家

【認定低炭素住宅】

省エネ法の基準に比べ、一次エネルギーの消費量が10%以上削減されていること。
 地域材仕様+厳選した設備により、地域環境にあった低燃費住宅を目指す高い省エネ性能を持つ家づくり。

【性能向上計画認定住宅】

エネルギー使用の合理化を目指し、低炭素住宅同様高い省エネ性能を誇る家づくり。
 また、高性能にとどまらず気候への適応性の高い地域の優れた木材を利用し、長く快適に暮らせる住宅。

【優良建築物】

信頼ある岐阜県、福井県の地域材を利用し地域に根差した建築物を目指す。
 またエコ設備導入により地域環境へも配慮・適応した建築物。

【ゼロ・エネルギー住宅】

住宅の躯体、設備の省エネ性能の向上、再生可能エネルギーの活用により、年間の一次エネルギー消費量がゼロとなる住宅。
 3地域でUA値0.5以下、4~6地域で0.54以下を目指し、エネルギー削減率はR値100%以上、R0値20%以上を満たす住宅。

【東濃松・ぎふ松・長良杉】

岐阜県には、全国的にも有名な「東濃松」「長良杉」などの木材があり、住宅の建築に使われています。
 全国的に森林率上位の岐阜で育った松。時に淡いピンク色をした美しい色合いも持つ東濃松は油分が多くツヤが良いという特徴もあり、住宅用の建築物にふさわしいとされています。

【福井県産材】

福井県産材は伐採され柱などになってからも生まれ育った気候風土に最もよく適応し、長持ちすると言われていています。
 そのため湿度の高い福井県地域に適応性が高く、長く快適に暮らせる優れた木造住宅を建てることができます。

高耐久

耐久性があり信頼性の高い地域材を使用し、今後も心配されている地震へも備えた家づくり。

伝統

地域に根差した伝統ある材を使用し、地域の豊富な自然を肌で感じられる家づくり。

技術継承

セミナー、提案会などを定期的に行い伝統技術の継承、情報交換のできる場を積極的に設け、伝統をもつ地域の技術継承をすすめていく。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。